

公表

訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名

公表日

令和 7年 4月 30日

こどもプラス豊見城教室3号館

利用児童数

令和 7年 3月 31日

回収数/15

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	11	4	0	・訪問記録に観察情報や様子がまとめられて大変わかりやすい。 ・助言は的確である。教員の力量不足で活かしきれていない。細かい点まで支援の方法などを提案してくれ、それはクラス全体にもつながるもので勉強になる。	・学校側の業務負担にならない程度に助言、提案を行います。
2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	11	4	0	・学校と訪問支援員と情報共有しながらサポートができています。 ・対象児童の対応策への手立てには満足している。 ・訪問支援員の方は学校へ来校し見守りなので、知識・技術を知る機会がない。	・申し送りの際には事実のみ伝え、一度事業所に持ち帰り会議にて詳細を検討し、改善策や対応策は紙面にて提供します。
3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	9	6	0	・私からの質問がなかったと反省している。もっと教えてもらいたい。	・申し送り時に事業所側からも質問をしてみます。 ・時間があるときに情報交換ができるように、メモやSNSなどを用いて口頭以外の情報伝達を行います。
4	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	9	6	0	・給食時間の訪問もできることを知って支援してもらっている。 ・本校の支援員が不足している中訪問員が授業のサポートに充たり感謝。 ・対象児の課題や特性を伝えてもらい、指導の方針が立てやすくなる。一進一退ですぐに結果がでるものではないので継続して行う必要がある。	・引き続き、困りごとや特性などの情報共有を行います。 ・事前に訪問先施設と、保育所等訪問支援員の立ち位置の共通認識を持ち、学校の先生や支援員との差別化を明確にします。
5	事業所からの支援に満足していますか。	10	5	0	・適切な支援や声かけ等あり困り感が軽減されている。 ・継続して月2回の訪問が難しかった。それができていればより本児へのアプローチが出来た可能性がある。 ・支援学級担任が交流学級へサポートに行けないのでとても助かっている。 ・資料や説明を聞くことで知識を得ることができる。	・たくさんの暖かいお言葉をかけていただき大変感謝しております。より精進していきますのでよろしくお願いします。
その他のご意見					ご意見を踏まえた対応	
・訪問支援員とその都度児童の状態や困りごとと共有できてよかった。 ・訪問支援員が観察の際に学級に入って児童への声かけだけでなく本児と他児童との関りをもたせようとレクを実施したりすることがあった。本児だけでなく他児童への介入は担任としてとまどうこともあった。 ・児童の様子やどのような支援をしたのか毎回詳しく教えてもらっているのがありがたい。 ・児童の発言や行動をそのまま受け入れるのではなく、先を見据えた指導(支援)になるよ					・担任の先生との情報共有を密に行い、支援方法の経緯を具体的に伝えます。または、間接支援という形で支援方法を提案します。 ・具体的にどんな介入方法があるのか、事業所内でも共有します。 ・課題やゴール設定から、具体的な支援の道のりを提示し、先生と情報共有を行います。 ・相互の情報共有を行い、双方のコミュニケーションを図ります。学校間との連携を強化し、一貫した支援を行っていきます。	

うお願いしたい。 ・訪問時には学校での様子を観察しているという状況が多く、助言や放課後児童デイの様子を伝えるという時間もなく、一方的な内容になっている。学校の様子を共有し保護者に伝えるという意味では評価はできるが、児童デイでどのような支援をしているのかわからないため、その都度伝えてほしい。 ・モニタリングでのアドバイスが功を奏している。授業の中に入って個別の指導ができたありがたい。 ・日程を調整をする事がとても難しかったです。こちらの都合もあるので、次回は、算数と図工が見たいですと予め指定があればこちらの都合の良い日を見て調整をお願いしたい。	・情報共有は可能な限り迅速に行い、早期の対応を心掛けます。 ・児童の特性などの情報をどれくらい学校側が把握しているのか、確認を行います。
---	--